

第8章の補遺2 座標空間における立体領域の体積

3次元座標空間における立体領域の体積を求めるために定理8.4を特殊化する.

定理 xyz 座標空間において, 立体領域 V に属す点の x 座標のうち, 最小値を a と, 最大値を b とおく. 区間 $[a, b]$ の各実数 t に対して, x 軸に垂直な平面 $x = t$ と領域 V との共通部分になる平面領域の面積を $S(t)$ とおく; この関数 S は a から b まで積分可能であるとする. このとき, 立体領域 V の体積は $\int_a^b S(t) dt$ である.

この定理では xyz 座標空間における立体と x 軸に垂直な平面との共通部分を考えてが, y 軸に垂直な平面との共通部分を考えることもできる.

定理 xyz 座標空間において, 立体領域 V に属す点の y 座標のうち, 最小値を a と, 最大値を b とおく. 区間 $[a, b]$ の各実数 t に対して, x 軸に垂直な平面 $y = t$ と領域 V との共通部分になる平面領域の面積を $S(t)$ とおく; この関数 S は a から b まで積分可能であるとする. このとき, 立体領域 V の体積は $\int_a^b S(t) dt$ である.

例題 xyz 座標空間において不等式 $x^2 + y^2 \leq 9$ で表される円柱体と不等式 $0 \leq z \leq y$ とで表される領域の共通部分 V の体積を求める.

【解説】 V の各点 (x, y, z) について, $x^2 + y^2 \leq 9$ なので, $x^2 \leq 9 - y^2 \leq 9$, よって $-3 \leq x \leq 3$. 区間 $[-3, 3]$ の各実数 t に対して平面 $x = t$ と立体領域 V との共通部分を考える. 不等式 $x^2 + y^2 \leq 9$ と方程式 $x = t$ とより, $t^2 + y^2 \leq 9$, $y^2 \leq 9 - t^2$, $y \geq 0$ なので $0 \leq y \leq \sqrt{9 - t^2}$. 更に不等式 $0 \leq z \leq y$ より $0 \leq z \leq y \leq \sqrt{9 - t^2}$; この不等式は, yz 座標平面において2辺の長さが $\sqrt{9 - t^2}$ である直角二等辺三角形で囲まれる領域を表す; その面積 $S(t)$ は

$$S(t) = \frac{1}{2} \sqrt{9 - t^2} \sqrt{9 - t^2} = \frac{9 - t^2}{2}.$$

立体領域 V の体積は,

$$\int_{-3}^3 S(t) dt = \int_{-3}^3 \frac{9 - t^2}{2} dt = \left[\frac{9}{2}t - \frac{1}{6}t^3 \right]_{-3}^3 = 27 - 9 = 18.$$

y 軸に垂直な平面と V との共通部分を考えてもよい.

V の各点 (x, y, z) について, $x^2 + y^2 \leq 9$ なので, $y^2 \leq 9 - x^2 \leq 9$, $-3 \leq y \leq 3$, 更に $y \geq 0$ なので $0 \leq y \leq 3$. 区間 $[0, 3]$ の各実数 t に対して平面 $y = t$ と立体領域 V との共通部分を考える. 不等式 $x^2 + y^2 \leq 9$ と方程式 $y = t$ とより, $x^2 + t^2 \leq 9$, $x^2 \leq 9 - t^2$, $-\sqrt{9 - t^2} \leq x \leq \sqrt{9 - t^2}$. また, 不等式 $0 \leq z \leq y$ と方程式 $y = t$ とより $0 \leq z \leq t$. これらの不等式は, yz 座標平面において x 軸方向の辺の長さが $2\sqrt{9 - x^2}$ で z 軸方向の辺の長さが t である長方形で囲まれる領域を表す; その面積 $S(t)$ は

$$S(t) = 2\sqrt{9 - t^2} t = 2t\sqrt{9 - t^2}.$$

立体領域 V の体積は

$$\int_0^3 S(t) dt = \int_0^3 2t\sqrt{9 - t^2} dt.$$

変数 u を $u = 9 - t^2$ とおく. $\frac{du}{dt} = -2t$ なので $2t dt = -du$. $t = 0$ のとき $u = 9$. $t = 3$ のとき $u = 0$. よって,

$$\int_0^3 2t\sqrt{9 - t^2} dt = \int_9^0 u^{\frac{1}{2}}(-du) = -\left[\frac{2}{3}u^{\frac{3}{2}} \right]_9^0 = 18.$$

故に立体領域 V の体積は 18 である. 終

問題 8.補遺2.1 xyz 座標空間において不等式 $x^2 + y^2 \leq 3$ で表される円柱体と不等式 $0 \leq z \leq x$ とで表される領域の共通部分 V の体積を求めなさい.

例題 xyz 座標空間において, 不等式 $x \geq 0$ と $x + y^2 + z^2 \leq 5$ との連立で表される立体領域 V の体積を求める.

V の各点 (x, y, z) について, $x \geq 0$ かつ $x + y^2 + z^2 \leq 5$ なので, $0 \leq x \leq 5 - y^2 - z^2 \leq 5$. 区間 $[0, 5]$ の各実数 t に対して平面 $x = t$ と立体領域 V との共通部分を考える. 不等式 $x + y^2 + z^2 \leq 5$ と方程式 $x = t$ とより,

$t + y^2 + z^2 \leq 5$, $y^2 + z^2 \leq 5 - t$; この不等式は yz 座標平面において半径が $\sqrt{5 - t}$ の円で囲まれる領域を表す; その面積 $S(t)$ は

$$S(t) = \pi \sqrt{5 - t}^2 = \pi(5 - t).$$

立体領域 V の体積は

$$\int_0^5 S(t) dt = \int_0^5 \pi(5 - t) dt = \pi \left[5t - \frac{1}{2}t^2 \right]_0^5 = \pi \left(25 - \frac{25}{2} \right) = \frac{25\pi}{2}.$$
 終

問題 8.補遺2.2 xyz 座標空間において不等式 $0 \leq y \leq 6 - x^2 - z^2$ で表される立体領域 V の体積を求めなさい.

例題 xyz 座標空間において, 不等式 $0 \leq x \leq 3$ と $y \geq 0$ と $z \geq 0$ と $y + z \leq x^2$ との連立で表される立体領域 V の体積を求める.

V の各点 (x, y, z) について $0 \leq x \leq 3$. 区間 $[0, 3]$ の各実数 t に対して平面 $x = t$ と立体領域 V との共通部分を考える. 不等式 $y + z \leq x^2$ と方程式 $x = t$ とより, $y + z \leq t^2$. yz 座標平面において, 不等式 $y \geq 0$ と $z \geq 0$ と $y + z \leq t^2$ との連立で表される図形は, 2辺の長さが t^2 である直角二等辺三角形で囲まれる領域である. その面積 $S(t)$ は

$$S(t) = \frac{1}{2} \cdot t^2 \cdot t^2 = \frac{t^4}{2}.$$

立体領域 V の体積は

$$\int_0^3 S(t) dt = \int_0^3 \frac{t^4}{2} dt = \frac{1}{2} \left[\frac{1}{5}t^5 \right]_0^3 = \frac{243}{10}.$$
 終

問題 8.補遺2.3 xyz 座標空間において, 不等式 $x \geq 0$ と $y \geq 0$ と $0 \leq z \leq 3$ と $x + y \leq e^z$ との連立で表される立体領域 V の体積を求めなさい. e は自然対数の底である.

